

令和2年8月市議会臨時会
副市長報告案件説明

報告案件につきまして、御説明申し上げます。

報告第23号は、令和2年4月分の後納郵便料の支払い遅延による損害賠償額につきまして、市長専決処分指定の件第4の規定により、専決処分をいたしたものでございます。

報告第24号から報告第30号の7件は、いずれも道路管理上の事故に係る損害賠償で、報告第24号は、本年6月、市内篠ノ井で発生したもの、報告第25号は、本年7月、市内安茂里で発生したもの、報告第26号は、本年6月、市内豊野で発生したもの、報告第27号は、本年6月、市内川中島で発生したもの、報告第28号は、本年7月、市内安茂里で発生したもの、報告第29号は、本年7月、市内大豆島で発生したもの、報告第30号は、本年4月、市内篠ノ井で発生したものにつきまして、いずれも市長専決処分指定の件第4の規定により、それぞれ専決処分をいたしたものでございます。

次に、報告第31号から報告第35号の5件は、いずれも、長野市が一定割合以上を出資している法人の経営状況につきまして、地方自治法第243条の3第2項の規定により、御報告申し上げるものでございます。

まず、報告第31号 地方独立行政法人長野市民病院の経営状況につきまして、御報告申し上げます。

初めに、第2期中期計画期間の初年度にあたる令和元年度の事業実績につきましては、長野市民病院が担うべき医療である「救急医療」、「がん診療」、「脳、心臓、血管診療」を中心に診療機能の一層の充実に努め、地域の中核病院として、他医療機関等との機能分担、連携強化を図りながら、訪問看護ステーションや地域包括ケ

ア病棟を活用し、在宅療養や在宅復帰の支援にも積極的に取り組みました。

その結果、受け入れた延べ入院患者数は 14 万 626 人、延べ外来患者数は 22 万 5,427 人となっております。

また、令和元年度決算は、経常収益 156 億 3,440 万 3,938 円に対し、経常費用は 153 億 811 万 1,317 円で、総利益は、3 億 2,629 万 2,621 円の黒字決算となったものでございます。

次に、令和 2 年度の事業計画につきましては、長野医療圏北部における医療の拠点として地域完結型医療の実現を目指してまいります。また、病院再整備事業につきましては、令和 3 年度の着工に向けて、基本設計を行うとともに、実施設計・施工者の選定を進めてまいります。

主な年度目標として、新入院患者数 1 万 1,480 人、医業収支比率 92.9%などを設定し、予算では収入総額 153 億 900 万円、支出総額 152 億 3,400 万円を見込むものでございます。

次に、報告第 32 号 公益財団法人 ながの観光コンベンションビューローの経営状況につきまして、御報告申し上げます。

初めに、令和元年度の事業実績でございますが、コンベンション事業につきましては、各種コンベンション及び合宿の誘致に努めたほか、開催された各種コンベンション、計 116 件に対する支援事業を実施いたしました。

また、観光振興事業につきましては、観光案内所の運営、各種宣伝媒体等を活用した観光宣伝事業、旅行業登録による着地型旅行商品の企画・販売、フィルムコミッション事業等を実施したほか、平成 29 年度から令和 3 年度までの 5 カ年を期間とする長野市観光振興計画に関連した事業を展開いたしました。

この結果、令和元年度の決算額につきましては、コンベンション事業費として 6,492 万 7,453 円、観光振興事業費として 1 億 5,377 万 4,606 円、管理費と合せた経常費用計は 2 億 5,262 万 4,026 円となり、正味財産期末残高は 1 億 2,243 万 8,933 円となったものでございます。

また、令和 2 年度の事業計画及び予算につきましては、コンベンション事業費と

して 7,123 万 3 千円、観光振興事業費として 1 億 7,936 万 3 千円を計上したものでございます。

次に、報告第 33 号 株式会社エムウェーブの経営状況につきまして、御報告申し上げます。

株式会社エムウェーブが指定管理者として運営しております長野市オリンピック記念アリーナ「エムウェーブ」及び長野市若里多目的スポーツアリーナ「ビッグハット」の管理運営事業につきまして御説明申し上げます。

初めに、第 23 期のエムウェーブの事業実績として、貸館運営に関しましては、継続的に御利用いただいている顧客への営業も含め、コンサート、展示会など大規模イベント等の誘致に努め、延べ利用者数は 28 万 3,093 人となりました。

アイスリンク運営に関しましては、スポーツ庁から委託を受けて実施しているナショナルトレーニングセンターとして、延べ利用選手数 1 万 2,186 人、市内小学校スケート教室の延べ参加者数 6,367 人など、シーズン中の延べ利用者数は 5 万 7,881 人となりました。

続きまして、ビッグハット及び若里市民文化ホールの事業実績でございます。貸館運営に関しましては、コンサート、展示会及び各種団体の大会等の様々な分野のイベントを積極的に誘致し、延べ利用者数 35 万 3,425 人となりました。

アイスリンク運営に関しましては、全国中学校スケート大会やジュニア親善アイスホッケー大会の開催等により、延べ利用者数は 1 万 1,874 人となりました。

第 23 期収支決算につきましては、エムウェーブ、ビッグハット及び若里市民文化ホールを合わせ、売上高は 6 億 2,286 万 5,586 円となり、販売費及び一般管理費等 6 億 1,983 万 6,604 円を差し引いた後の営業利益は 302 万 8,982 円となりました。

また、営業外損益を合わせた経常利益は 319 万 1,418 円、税引き後の当期純利益は 125 万 4,190 円となったものでございます。

次に、第 24 期の事業計画につきましては、新型コロナウイルス感染防止対策に万全を期す中で、エムウェーブ及びビッグハット両施設を一括運営しているメリッ

トを生かしつつ、大型イベントの企画、誘致を進めるとともに、継続的に御利用いただいている顧客に対する営業を含めた積極的な営業展開とサービスの向上に努めてまいります。

冬期のアイスリンク運営に関しましては、ナショナルトレーニングセンターとして競技者の利用促進をはじめ、大勢の皆様が身近なレジャーとして気軽にスケートを楽しんでいただけるよう、アイススケートの魅力について積極的な情報発信に努めてまいります。

運営面においては、更なる合理化を図ることにより、売上高 6 億 2,325 万 7 千円、事業費 6 億 2,003 万 7 千円、営業外損益を合わせた経常利益 388 万 5 千円と見込んでいるものでございます。

次に、報告第 34 号 一般財団法人 長野市文化芸術振興財団の経営状況につきまして、御報告申し上げます。

令和元年度の事業実績につきましては、長野市芸術館の安全で快適な管理運営に努めるとともに、第二期指定管理の初年度として「創る・楽しむ・育む・つなぐ」の 4 つの事業コンセプトのもと、新たなテーマに「ともに成長」を掲げ、シーズンプログラム・プロデューサーによる四季に合わせた長野市芸術館オリジナルプログラムなどを実施いたしました。

また、60 歳以上の市民が俳優として舞台に立つ「長野市芸術館シニア演劇アカデミー」の立ち上げや、「長野市芸術館ジュニア合唱団」の初の定期演奏会など市民参加型事業に積極的に取り組んだほか、普及事業として、無料で誰でも鑑賞ができる「長野市役所ロビー・コンサート」や「ランチタイム・ピアノ・コンサート」を定期的に開催し、多くの方にご来場いただきました。

これらの結果、令和元年度の決算につきましては、経常費用の合計が 4 億 1,917 万 4,954 円となり、正味財産期末残高は 1 億 4,432 万 285 円となったものでございます。

また、令和 2 年度の事業計画及び予算につきましては、第二期指定管理のテーマである「ともに成長」を念頭に、市民に寄り添った主催事業の実施及び施設管理運

営等を行うものであり、収益並びに費用はともに同額の 4 億 8,124 万 7 千円を見込むものでございます。

次に、報告第 35 号 公益財団法人 長野市スポーツ協会の経営状況につきまして、御報告申し上げます。

初めに令和元年度の実績につきましては、加盟 42 団体に対し、競技水準向上事業として、選手・指導者の強化・育成等に対し、32 件の補助を、スポーツ普及・交流事業として、市民スポーツイベントや教室開催事業等に対し、56 件の補助を行いました。

この結果、令和元年度の決算につきましては、スポーツ振興支援事業費として、3,204 万 3,801 円、管理費と合わせた経常費用計は、4,044 万 2,899 円となり、正味財産期末残高は 6,052 万 5,711 円となったものでございます。

次に、令和 2 年度の事業計画及び予算につきましては、スポーツ振興支援事業費として 3,661 万円、人件費と合わせた管理費として 943 万円を計上したものでございます。

以上で、報告案件の御説明を終わります。